

富士河口湖町立 教育センターだより

No.14



平成26年9月24日 文責 高尾久美子

富士登山を経験して



「ふと東のほうを見ると空と湖の間に赤い筋が地平線に沿ってひかれています。そこから太陽が昇ってくるのです、毎日必ず。その瞬間を私は初めて見ました。周りが明るく染まり朝が来る瞬間を。寒さを忘れるくらい心が温くなりました。」

子どもの感想文の一部です。8月7日(木)・8日(金)町主催の富士登山を行いました。今年で3回目です。天候に恵まれ全員登頂できました。

登りは、岩場が多くまた空気もだんだん薄くなり思っていたより苦しさを感じました。しかし、時々見る下界の美しさに励まされながら一步一步前に進むことができました。この日は、八合目トモ工館に泊まり。次の日、朝四時頃頂上を目指して出発しました。そして、四時五十分、御来光を見たとき、誰もがそれを見つめたまま感動に浸っていました。苦しくても富士山に登ってよかったと心から思った瞬間でした。

九合目から頂上までは、頂上がそこに見えているのですが、なかなかたどり着けません。ガイドの笹川さんや福村さん、そして渡辺玉枝さんの励ましが支えとなり全員が頂上にたどり着きました。

センターでは、富士登山をした25名の子どもたちの感想をまとめ、思い出作りとして文集を作成しました。全ての子どもたちが、登って良かったという感想を書いていました。また、富士山への思いや感謝の気持ちを綴った感想もたくさんありました。

「この世界遺産になった富士山、高さだけでなく他のことでも沢山の日本一があるように感じました。これからも富士山の麓で暮らせることに誇りを持ち、世界遺産であり続けていられるように何か活動ができれば、と思いました。」

「この富士登山で大切なことを教えてもらいました。玉枝さんやガイドの方々がいってくれたからだと思っています。本当にありがとうございました。これからも自分たちの手で富士山を守っていきたくと改めて感じました。」「私は、今回の企画に本当に感謝しています。あんなに美しいもの(御来光)をみることでできたのも、今回の富士登山のおかげです。」

「この登山は、夏休みの一番の思い出です。これからもずっと忘れることのない良い経験ができたと思います。富士山は簡単に登れる山ではないけれど、感動することのできる山なので、みんなに富士登山をすすめようと思いました。」

今年も子どもたちにとってこの富士登山の経験が、忘れることのできない良い思い出として残りました。

身近にあって簡単には登れない富士山です。ぜひ、来年度も多くの子どもたちに参加してほしいと思います。

